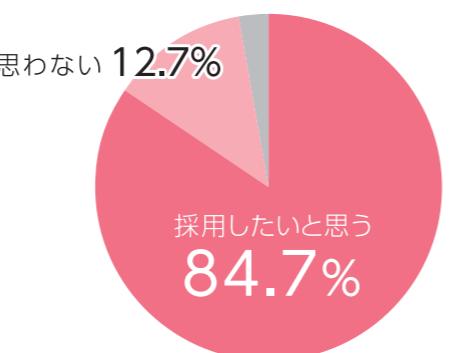


100企業・団体(有効回答118企業・団体)がこの学科の学生を「採用したい」と回答。

「現代文化学部 文化コミュニケーション学科」の就職先として想定される企業・団体の採用担当者へのアンケート調査で、全体の約85%となる100企業・団体から「採用したい」と回答いただきました。また、同学科の社会的必要性に関しても、96.6%(114企業・団体)が「必要だと思う」と回答いただいていることから、多くの企業・団体がこれから社会に必要な学部であると捉えていることが伺えます。

※卒業後の就職先として想定される企業300社へのアンケート調査集計。



（参考）文化言語学部の就職状況

就職率

100%

平成29年5月1日現在
平成29年3月卒業生
就職希望者に占める就職者の割合

近年の就職先

製造業	タカラスタンダード(株)／(株)熊本菓房／瑞鷹(株)／金剛(株)
情報通信業	(株)熊本日日新聞社／(株)熊本放送／(株)サンマーク／日本通信機器(株)
運輸・郵便業	日本郵便(株)／佐川急便(株)／(株)ジェイ・エス・エス
卸売・小売業	(株)古莊本店／(株)メガネの大宝堂／(株)ユニクロ／(株)えがお／(株)ペイブルック／(株)スズキ自販熊本／マックスバリュ九州(株)
宿泊業	(株)東横イン／(株)ユニマットプレシャス
金融・保険業	(株)熊本銀行／(株)肥後銀行／第一生命保険(株)／明治安田生命保険(相)／日本郵便(株)[日本郵政グループ]
教育・学習支援業	熊本県立図書館／熊本市立図書館／八代市立図書館／おおづ図書館／益城町図書館／丸善雄松堂(株)／熊本YMCA(臨時採用含む)
医療・福祉業	熊本機能病院／菊陽学園
複合サービス業	熊本市農業協同組合／熊本宇城農業協同組合／上益城農業協同組合／鹿本農業協同組合／阿蘇農業協同組合／本渡五和農業協同組合
公務	産山村役場／熊本市役所／日本年金機構

取得可能な資格

目標とする資格

- | | | | |
|---------------|----------------|--------------|--------------|
| ●司書 | ●TOEIC®・600点以上 | ●日商PC検定試験 | ●文書デザイン検定試験 |
| ●社会調査士 | ●中国語検定2級以上 | (文書作成・データ活用) | ●ビジネス能力検定 |
| ●プレゼンテーション実務士 | ●ハングル能力検定2級以上 | ●ITパスポート | ●旅行業務取扱管理者試験 |
| ●観光ビジネス実務士 | ●簿記検定 | ●日本語ワープロ検定試験 | ●サービス接遇検定 など |
| ●日本語教師(大学認定) | ●通訳案内士 | ●情報処理技能検定試験 | |

尚絅食育研究センター

大麦プロジェクト

大麦プロジェクトは、大麦及び大麦製品の周知と大麦を用いた新商品（レシピ）を開発する目的で西田精麦株式会社と尚絅食育研究センターが平成28年6月から取組みを開始しました。このプロジェクトに参加した学生は生活科学部28名、短期大学部食物栄養学科4名で、教員とともに、レシピ開発に当たりました。まず大麦や大麦粉の栄養学的な特徴についての勉強会を実施し、その後レシピ開発に向けて検討を重ね、若い世代への大麦周知を目指しテーマを「スイーツ」としました。5つのグループに分かれ、教員の指導を受けながら、大麦粉の機能性・調理性を考慮したスイーツ開発に当たりました。9月にアイデア発表会、10月には西田精麦(株)担当者の参加を得て試作品検討会を実施、11月に関係者の試食会を実施しプロジェクト参加学生と食育研究センター運営委員教職員の意見をもとに、レシピ改良を行いました。1月に学内試食会を開催し、尚絅高校の生徒、九品寺キャンパスの学生・教職員に大麦や大麦粉についての啓蒙活動を行うとともに、学生が開発したスイーツを実際に食べてもらうことで、大麦を身近に感じてもらうことができたようです。平成29年3月4日には、パティシエ・食品会社管理栄養士・食品流通の専門家の方々を学外よりお招きし、学生のアイデアが詰まったスイーツをご披露することができました。参加した学生には、今回の試みから学んだ経験を今後に活かしてほしいと思います。



開発会議風景



平成29年3月4日 試食会の様子

尚絅地域連携推進センター

尚絅大学・尚絅大学短期大学部と熊本市との連携協力に関する包括協定の締結



尚絅大学・尚絅大学短期大学部と熊本市は平成29年3月23日、地域活性化と市民サービスの向上を目指して、「連携協力に関する包括協定」を締結しました。締結式では大西一史市長、森正人学長が出席し、協定書にサインをしました。今回は、食育や幼児教育の研究機関活動、管理栄養士や保育士、幼稚園教諭などの育成といった本学の特色を中心に、「地域防災と安心・安全」、「高齢者・障がい者支援」、「子育て支援」、「食と健康」、「人材育成やまちづくり・地域づくり」、「国際交流」の6つの分野において協働事業に取り組んでまいります。今回の協定について、本学は研究、教育の蓄積を社会に生かす機会としてとらえ、課題を地域と共有しながら、さらに、研究を深めてまいります。

尚絅子育て研究センター

8月6日に

第17回公開シンポジウムを開催します！

尚絅子育て研究センターでは、内外の研究者、保育実践者とともに保育や子育てに関する研究をすすめています。平成29年3月19日に開催した「新任保育者の成長に向けた環境づくり」講演会では、多くの保育関係者にご参加いただき、新任保育者の育成について話し合うことができました。また、今年度で3年目を迎える「乳児保育研究会」では、毎月定例で保育実践をもとに共同研究を行っています。その成果を踏まえて、8月6日(日)に開催する第17回公開シンポジウムでは、「大切にしたい0,1,2歳児の保育—指針の改定を踏まえて—』というテーマを企画しています。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加下さい。今後の研究会、シンポジウム等の予定は、ホームページでもご案内いたします。(問い合わせ先:kosodate@shokei-gakuen.ac.jp)



第1回(4月26日)乳児保育研究会の様子



「新任保育者の成長に向けた環境づくり」講演会・セッション(3月19日開催)

尚絅ボランティア支援センター

「美容と健康で復興応援」のイベントにボランティア協力

5月27, 28日の2日間、ゆめタウン光の森で行われた大化粧品メーカー「資生堂」が主催する「くまもと復興応援イベント」に、本学短期大学部総合生活学科の学生約20名がボランティアスタッフとして参加しました。当日は、会場での受付やイベント募集チラシの配布等の協力活動を行いました。また、資生堂スタッフとともに、来場者への対応をはじめ、美容と健康をテーマにしたイベントのサポートーとしても復興応援活動に協力することができました。参加した学生たちにとって、このイベント協力活動は、企業の社会貢献活動に対する理解を深めるための貴重な体験となりました。

